

会 議 録

令和5年4月28日調製

審議会等名	令和5年度 第1回 社会教育委員会議及び公民館運営審議会		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	令和5年4月19日（水） 午後7時00分から8時20分まで		
開催場所	三条市中央公民館 1階 大集会室	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	委員 小林斉子委員（議長） 佐藤隆司委員（副議長） （7人） 倉品 章委員 青山珠江委員 中川祐稀委員 宮島 健委員 若月 章委員 （欠席委員：阿部桂介委員、山田正芳委員、池田和也委員、石本史子委員、水科美和子委員、石月愛香委員）		
	職員等 永井生涯学習課課長補佐兼嵐南公民館長兼三条東公民館長 （10人） 岡田生涯学習推進係長兼中央公民館主査 中野一般任用主事 五十嵐井栗公民館長 内山本成寺公民館長 田中大島公民館長 山田大崎会館長 篠原図書館長兼歴史民俗産業資料館長 嘉代諸橋轍次記念館長 夏目憐ヴィアックス三条営業所長		
議 題	(1) 第3次三条市生涯学習推進計画（令和5年度版）（案）について (2) その他		
会議内容			
岡田係長	皆様大変お疲れ様です。お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。 本日、委員13名のところ、6委員（阿部委員、山田委員、水科委員、石本委員、靱山委員、池田委員）が都合により欠席との連絡をいただいております。よって、委員の半数以上がお揃いですので、これより令和5年度第1回社会教育委員会議及び公民館運営審議会を開会したいと思います。 なお、本日、生涯学習課長は身内に不幸があったことから、欠席しております。 代わって、課長補佐の永井が御挨拶を申し上げます。		
永井補佐	御多用のところお集まりいただき感謝申し上げます。 前回議論いただいた「三条市の生涯学習推進のための基本指針及び重点目標」を受け、今回「第3次三条市生涯学習推進計画（令和		

	<p>5年度版)」(案)として、令和5年度事業計画を含む形で提示させていただきました。</p> <p>委員の皆様から承認いただき、新年度の生涯学習事業を推進してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
小林議長	<p>それでは、議題に沿って進行します。</p> <p>先ずは、事務局 配布資料の確認をお願いします。</p>
岡田係長	<p>&lt;配布資料の確認&gt;</p>
小林議長	<p>それでは、本日の議題「(1) 第3次三条市生涯学習推進計画(令和5年度版)(案)について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>なお、説明が多岐にわたり長時間となりますので最初は生涯学習課と公民館、大崎会館の説明を受けた後に質疑応答を行います。</p> <p>事務局、説明してください。</p> <p>(事務局説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡田係長(生涯、中央、嵐南、三条東、栄、下田)</li> <li>・五十嵐館長(井栗)</li> <li>・内山館長(本成寺)</li> <li>・田中館長(大島)</li> <li>・山田館長(大崎)</li> </ul>
小林議長	<p>第3次三条市生涯学習推進計画の基本線について、どのように考えて事業を組み立てられたか、各公民館にお聞きします。</p>
五十嵐館長	<p>基本指針の「誰もが参加しやすい学習環境づくり」や「一人一人の能力に合った多様な活躍機会の創出と支援」を特に意識して、事業を企画しました。</p>
内山館長	<p>基本指針、重点目標の全てを意識しておりますが、特に、地域に眠っている文化的な宝を掘り起こそうという話を公民館協力員ともし、事業を企画しました。</p>
田中館長	<p>ミズベリング広場でのイベントを始め、須頃郷の獅子舞を見てもらいたい、市立大学の学生と交流を持つなど、地域の融和を図る活動をやりたいという思いで、事業を企画しました。</p>
山田館長	<p>大崎会館のある場所は、旧大崎中学校のあった場所ですが、そこは大崎地区の中心です。そのため、できるだけ多くの方、特に若い</p>

<p>岡田係長</p>	<p>方から事業に参加していただきたいという思いで、事業を企画しました。</p> <p>特に「誰もが参加しやすい環境づくり」という部分を意識しました。いくつかの公民館で手話講座を計画し、障がい者への配慮という従来にはなかった視点で事業を組み立てました。また、「学びの成果を地域に還元することで、更なる生涯学習人口の増加と新たな人材を育成」という部分を捉え、講師公募型講座である市民ゼミの拡大を図りたいと考えております。</p>
<p>宮島委員</p>	<p>嵐南公民館の「市民ゼミ 穏やかな死を迎える」という講座がありますが、「穏やかな死」とは誰がどのように決めるのですか。ここまで人の心の内心に入ってもよいのでしょうか。これは公民館の講座としてふさわしいのですか。</p> <p>また、井栗公民館の人生塾の視察は講師に縁のある場所に行くのですか。</p>
<p>永井補佐</p>	<p>現代の高齢者にはエンディングノートを書いて、今までの自分を振り返る、見つめ直す、残していきたいことを書き留める、といったことをされる方もいらっしゃいます。これは大事なことだと思います。そのため、こういったことを公民館で教えたい、という講師が出てくるのも、時代の流れなのかと思います。</p>
<p>小林議長</p>	<p>今まで「死」というワードが入っている講座はありませんでした。このような直接的な表現がいいのかどうかも含め、講師の意図について講師とよく擦り合わせをしていただければと思います。</p>
<p>五十嵐館長</p>	<p>人生塾については高齢者対象の講座として年間5回程度開催しております。新型ウイルス禍の前は例年1回は視察研修として、高齢者が興味のある場所などに視察に行っておりました。今年度は市内で高齢者が見たい場所を計画しております。</p>
<p>中川委員</p>	<p>公民館等運営計画の基本指針で「情報発信や講座開催等におけるICT（情報通信技術）の活用」とありますが、ICTを使えるようになった後のビジョンや課題について教えてください。</p>
<p>岡田係長</p>	<p>近年、高齢者がスマホを持つようになっており、操作方法やLINEの使い方を学びたいというニーズが高まっていますが、一人暮らしだったり、家族に聞いても教えてくれない、という悩みを持たれています。そういったニーズを捉えて、全公民館でスマホ講座を実施</p>

	<p>しています。将来ビジョンとしては、市民が年を取っても、遠方に住む子どもや孫、仲間など社会とつながり、集うためのコミュニケーションツールとして ICT を活用することで、生涯に渡り喜びや楽しみを得られるようにしたいです。</p>
中川委員	<p>一番はコミュニケーションですよね。今後は資料の共有、回覧板や会議などもオンラインできるようになると素晴らしいと思います。そういったビジョンも持ちつつ、ICT の活用に取り組んでください。</p>
若月委員	<p>中央公民館で新潟大学と連携した大学連携講座がありますが、地元の三条市立大学の教授・講師陣による市民公開講座を実施することも良いのではないのでしょうか。</p>
岡田係長	<p>素晴らしい御提案だと思いますので、三条市立大学に伝えます。</p>
佐藤副議長	<p>基本指針に「公共施設のみならず、地域団体や民間企業とも連携した多様な学習機会の提供」とあります。下田公民館では地域に向く「出張型」の講座がありますが、他の公民館ではどのくらいありますか。</p>
岡田係長	<p>「出張型」につきましては、下田公民館のみとなっております。</p>
小林議長	<p>「場所にとらわれない」という意味を考えれば、何でもかんでも公民館の外に出て行けばいいというものではないと思います。公民館以外に集いの場がない地域にとっては、大変な負担となるのではないのでしょうか。各公民館は、急がず、可能な範囲でできることからやっていくということを心に留めておいてほしいです。</p>
若月委員	<p>基本指針に「誰もが参加しやすい学習環境づくり」を受けて、場所だけでなく、「人を選ばない」ということも考える必要があります。今まで障がい者の方が参加したいけど講座に参加できなかった、という事例はありますか。</p>
岡田係長	<p>公民館では聞いたことはありませんが、昨年、体育文化会館で開催した市美術展で、アリーナ内に日本画や洋画などの 6 部門を展示しましたが、同時開催された障がい者の作品展の絵がアリーナの外の通路に展示されていたのを見た方から「障がい者の作品が外に追いやられているようだ」との御指摘をいただきました。</p> <p>市美術展では、障害の有無にかかわらず、出品規程を満たせば出</p>

	品できますので、そういった周知をしたり、障がい者が出品しやすい規程があるかなど、障害福祉施設の職員にヒアリングする予定でおります。
青山委員	下田公民館は出張型講座が多くて良いと思います。他の公民館でもやってほしいです。
小林議長	全ての公民館で出張型をやるというのは地域性もあり難しいかと思いますが、公民館では御意見として受け止め、今後の事業の参考にしていただければと思います。
倉品委員	PRのため公民館事業のパンフレットがあると良いと思います。 公民館だよりだと、その地区の公民館事業のことしかわからないので、他の公民館で魅力的な事業をやっていたとしても、わからなくて参加できないのではないかと心配しています。また、住まいのある地区とは違う地区の公民館講座に参加したい人が参加できるようになってほしいです。
小林議長	各地区公民館でも定員に余裕があれば他地区の人も受け入れています。
内山館長	本成寺公民館でも野菜作りの講座をやりましたが、下田地区などから大勢参加がありました。他地区の公民館事業にも参加できることは知れ渡っていると思います。
田中館長	大島公民館でも野菜作りの講座で、他地区の方が8割いらっしゃいました。
小林議長	次に図書館、歴史民俗産業資料館、諸橋轍次記念館の説明を受けた後に質疑応答とさせていただきたいと思います。  (事務局説明) ・篠原館長（図書館・歴史民俗産業資料館） ・嘉代館長（諸橋轍次記念館）
小林議長	ただいまの説明について、何かご質問・ご意見はありませんか。
小林議長	まちやま 50 万人達成というお話でしたが、図書館部分を利用された方は何人いらっしゃったのでしょうか。

篠原館長	<p>複合施設であります、まちやまの建物の入り口のセンサーで入館者数をカウントしておりますので、図書館部分のみを利用された方の人数は把握できないものでございます。</p>
佐藤副議長	<p>諸橋轍次記念館はこちらから行くにはかなり距離があり、不便です。例えば、諸橋轍次記念館の事業を中央公民館に出張して実施してはいかがでしょうか。</p>
嘉代館長	<p>諸橋轍次記念館としては、他施設への出張講座は考えておりません。それぞれの生涯学習施設において、諸橋轍次に関する講座や講演などの事業で取り組んでいただければと思います。</p>
若月委員	<p>諸橋轍次記念館の持つロケーション、博士が誕生し、中国に思いを馳せたというストーリーを始め、各種事業は三条・新潟県・日本の素晴らしい財産だと思います。140周年を機に、全国に発信して行っていただきたいです。</p>
嘉代館長	<p>全国を対象とした大きな事業も二つあります。これらの機会を捉えて発信するとともに、各事業の開催に当たり、全国の関係機関等を通じて発信をしてみたいです。</p>
若月委員	<p>中国駐新潟総領事館との連携はありますか。日中関係は難しい時代ですが、今だからこそ、文化の分野で連携していく必要があると思います。</p>
嘉代館長	<p>去年は、日中国交正常化50周年でしたので、領事館を通じた文化交流は今でも続いていますし、これからも両国の友好を大切にしてみたいです。</p>
小林議長	<p>諸橋轍次記念館に対する愛や思い、諸橋轍次記念館はあの場所になければならない、という信念が伝わりました。その信念を今後も貫いて行ってほしいと思います。</p> <p>ほかに意見はありませんか。</p> <p>ないようですので、各施設はこの事業計画に基づいて、運営して行ってください。</p> <p>次の議題「(2) その他」について、事務局から何かありましたら説明をお願いします。</p>

<p>岡田係長</p>	<p>前回、3月1日の会議で、体育文化会館のマルチホールでの飲食の取扱いについて健康づくり課スポーツ振興室に確認し、報告することとなっております。確認した結果、マルチホールの座席では飲食を認めておりませんでした。ただし、マルチホールは観覧席を収納し、平戸間にすることができます。この平戸間状態であれば、座席が汚れる恐れがありませんので、過去、市展受賞パーティーやジャズライブで飲食を行った実績があります。</p>
<p>小林議長</p>	<p>本日、用意されました議題につきまして無事終了することができました。スムーズな進行に御協力をいただきありがとうございました。</p> <p>なお、本日の社会教育委員会議及び公民館運営審議会の記録につきましては、生涯学習課職員が作成した記録に基づき、私と事務局が確認の上、会議録として調製させていただきますので御了解ください。</p> <p>以上で、本日の会議を終了いたします。</p> <p>事務局で、諸連絡がありましたらお願いいたします。</p>
<p>永井補佐</p>	<p>本日、議題について承認いただき誠にありがとうございました。</p> <p>さて、委員の皆様の任期は令和5年5月31日で満了となります。無事、第3次三条市生涯学習推進計画も承認いただいたことから、委員の皆様におかれましては本日が最後の会議となります。</p> <p>在任期間中、お忙しい中、お力添えをいただき、本当にありがとうございました。特に議長、副議長におかれましては、的確な議事進行と事務局への御指導を賜り、感謝申し上げます。</p> <p>この場をお借りして、生涯学習課を代表して私から御礼申し上げます。</p>